

ドライブで行きたいオススメ立ち寄りスポット



吉田ふれあい 国安の郷

宇和島藩から分地された吉田藩三万石の武家屋敷や商家を当時のまま再現している。豪壮な造りの屋敷の中では、質素で厳格な暮らしが営まれていた。展示物はどれも見ごたえ充分だ。

☎ 0895-52-4884
📍 宇和島市吉田町鶴間1503
🕒 9:00~17:00(年末年始休業) P有



宇和島城

築城の名手とされた藤堂高虎によって築かれ、その後伊達秀宗が入城し、寛文11(1671)年の大修理を経て、現在の姿となった。天守までは歴史の重みを感じながら石段を上っていきこう。

☎ 0895-22-2832 📍 宇和島市丸之内1
🕒 天守観覧時間9:00~16:00(3月~10月は17:00まで)
P有



こもぶち うみのいえ こもてらす

蔦淵(こもぶち)にある人気カフェ。三浦半島ドライブで一息入れるならここがオススメだ。ランチもでき、ウッドデッキからは穏やかな海と全長190メートル、日本一短い細木運河が望める。



☎ 0895-63-0163 📍 宇和島市蔦淵502-1
🕒 9:00~17:00(月曜日定休) P有



和霊神社(われいじんじや)

伊達秀宗のもとで手腕を發揮した山家清兵衛(やんべせいべえ)を祀る。漁業を中心とした産業の神様として信仰される。四国でも屈指の大社で、石造りでは日本一の大鳥居や太鼓橋がある。

☎ 0895-22-0197
📍 宇和島市和霊町1451
🕒 8:30~17:00
P有



旅のお土産はこちらで 道の駅 津島やすらぎの里

特産品の大打焼きをはじめ、宇和島・愛媛の名物を集めた特産品販売所「てんやわんや市」で、地元の味を旅の記念に。新鮮市場では旬の野菜や果物が所狭しと並ぶ。

☎ 0895-20-8181
📍 宇和島市津島町高田甲830-1
🕒 10:00~21:30(受付)
(第1・3月曜日休館)
P有



里人トーク

「先祖から受け継いだ土地を守っていきたい」
段畑は以前にはもっと広い地域にありましたが、耕作する人が少なくなり、徐々に減っていきました。守ろう会ができ、平成19年に国の重要文化的景観に指定されたことで、ようやく保存活動にも弾みが付きました。代々続いた土地と景観を長く守っていききたいですね。



鳥井 康幸さん
(NPO法人段畑を守ろう会 副理事長)

DRIVE DATA

- 大阪・神戸方面から「明石海峡大橋」「大鳴門橋」利用
- 広島・岡山方面から「瀬戸大橋」又は「しまなみ海道」利用

INFORMATION

●宇和島市観光物産協会 ☎ 0895-49-5800

苦勞と知恵を
積み上げた
時の遺産があつた。
愛媛県の宇和海を望む遊子水荷浦に
段畑(だんばた)の絶景がある。
それはかつて日本の歴史に翻弄されながら、
この地の里人たちの汗と知恵が
築き上げたすばらしい遺産だ。
ひととき時間旅行に出かけよう。

天に至る段畑

遊子水荷浦

ゆすみずがうら
【愛媛県宇和島市】



●風雪に耐えた石積み段畑は、2月頃に緑が繁り、春には実りの時を迎える。



段畑の前には、大きな駐車場とだんだん茶屋がある。☎ 0895-62-0091

人と自然の営みが生み出した段畑を訪ねた後は、クルマでゆっくり半島めぐりもいい。市内に向かえば、宇和島城をはじめ、伊達家ゆかりの地で時間旅行も楽しめる。

愛媛県の宇和島市は伊達十萬石の城下町だ。その中心部からクルマで約40分、リアス式海岸を形成する三浦半島に、国の重要な文化的景観にも選ばれた遊子水荷浦の段畑(だんばた)がある。眼の前は海、背後に山が迫る狭い土地に生まれた傾度30度を超える急斜面の耕地には、江戸時代から始まった長い物語があった。
大坂冬の陣の功績で伊達秀宗が宇和島十萬石の初代藩主になるが、御家事情で吉田三萬石を分地、二代目宗利が七萬石しか相続できなかったのが発端だ。その財政不足を補うため宇和海各地に漁場の開拓を奨励するが、半農半漁の住民たちは自らの食料を得るために海岸沿いの狭い土地を耕し、芋や麦の自給自足を強いられる。
その後、太平洋戦争で取れた日本の食料難に対しても、この地の人々は先祖が残した段畑で精を出し、採れた芋や麦を国に差し出して飢えに苦しむ人々を助けている。当時のさつま芋の栽培に変わり、いまは早掘りの馬鈴薯が収穫される。
人との営みが生み出した段畑を訪ねた後は、クルマでゆっくり半島めぐりもいい。市内に向かえば、宇和島城をはじめ、伊達家ゆかりの地で時間旅行も楽しめる。